



松野奏風 石橋



松野奏風 翁



**松野奏風**

尾竹国観、月岡耕漁に師事。1938年『能姿五十彩』出版。1940年刊行の観世流大成版謡本の編纂に携わり、挿絵を担当。平泉中尊寺白山神社能楽殿に鏡板老松図を揮毫。大阪・山本能舞台、京都・河村能舞台、旧大阪能楽会館鏡板などに揮毫。

**松野秀世**

東京藝術大学日本画科(師岩橋英遠)卒業、院展特待。観世能楽堂本舞台揮毫。白洲正子著・松野秀世絵『魂の呼び声』刊行。MOA美術館能舞台、こしがや能楽堂、名古屋能楽堂に揮毫。巖島神社能楽殿老松図復元に従事。

**外沢照章**

能仁会に入門。面匠会で鎌田芳雲に師事、神奈川県民ホール・鶴見会館等で個展。2009年小樽能楽講座「能面を打つ」講師、「小樽・能楽・歴史展」参加。旧岡崎家能舞台に隣接の小樽公会堂で毎年個展開催。2022年「小樽の能楽」出品。



外沢照章 赤般若



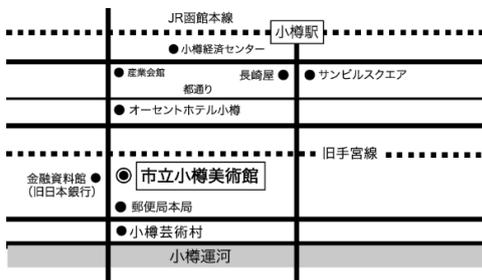
外沢照章 獅子口/若女/黒髭



**【関連事業】**  
講演会 四月二十六日(土) 午前10時〜12時30分  
「能を描く(えがく) 松野奏風と秀世の作品について」  
長谷川三香(松野藝文館代表)  
ギャラリートーク 五月三日(土) 午前10時〜11時40分  
「能面の種類と特徴」外沢照章(能面作家)  
朗読公演 六月七日(土) 午後2時〜3時30分  
「源氏物語(葵上)」角田光代訳『源氏物語 上』河出書房新社  
堀きよ美(女優) 薩摩琵琶演奏・黒田拓  
※展覧会観覧券をお求めください。

**お申込み**  
美術館 電話〇一三四一三四一〇三三(要事前予約)

関連事業のお申込み: tel 0134-34-0035



**市立小樽美術館**  
〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号 tel 0134-34-0035

# 能舞台の華

能画―松野奏風・松野秀世と能面―外沢照章の世界

能楽は、我国の伝統芸能であり、重要無形文化財に指定、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。小樽では、「旧岡崎家能舞台」が歴史的建造物として、大正・昭和初期に花開いた能楽文化の面影を今に伝えていきます。

松野奏風・秀世父子は、画家として、各地の能舞台に松図を揮毫しただけでなく、先人の描いた全国の松図を調査し、その記録と解説を執筆しました。秀世は「能に親しむ会」の招きにより、二〇〇〇年に本市を訪れたご縁があります。

また、松野父子は、舞台で繰り広げられる能楽師の姿を絵画で表現した「能画」の名手として知られ、加えて謡本の挿画も手がけました。

一方、関東から能舞台のある小樽に惹かれて移住した能面作家、外沢照章は、これまでに一〇〇点を超える面打ちを行い、二〇〇九年より小樽で展覧会を通じ、能楽の普及に貢献しています。

本展は、能舞台そのものに着目し、千葉県四街道市に位置する「松野藝文館」のご協力を得て、能楽師の姿と舞台上の架空世界を描いた松野奏風・秀世の「能画」を展覧。同時に、演能のうえで欠くことのできない「能面」を外沢照章の作により、演目に添って展示し、華麗で詩情豊かな能楽の魅力をお伝えするものです。